



フッ素とは

フッ素は地球のどこにもある元素で、海の水・川の水・土の中、そして人間の食べるあらゆる食べ物に含まれる必須栄養素（1日3ミリグラム必要）です。

また、私たちの体の構成要素ともなっており、体重1キログラム当たり約42.8ミリグラムのフッ化物が体に含まれています（体重60キログラムの場合約2.6グラムのフッ素）。

むし歯予防に効果的

フッ化物洗口

●フッ化物洗口の実施状況

フッ化物洗口の全国の実施状況は、平成16年に行われた調査によると約3千900施設、約40万人となっており、年々増加しています。

道内では、平成14年現在、146施設8千846人となっており、西胆振では伊達市の全小学校（8校）、登別市では7保育所・2市立幼稚園、登別小学校、ほかに洞爺村の小学校と大滝村の保育所それぞれ1施設で実施しています。

（【グラフ1】をご覧ください）

●永久歯のむし歯の状況

12歳（中学1年生）の1人平均むし歯の状況は、平成14年現在、全国が2・28本、全道は3・35本、登別市は2・73本となっています。全国よりは少し多いが、全道よりは少ない状況となっています。

また、フッ化物洗口を実施している伊達市と登別市は、一人平均のむし歯数が少ない傾向にあることがわかります。

（【グラフ2】と【グラフ3】をご覧ください）

●フッ化物洗口を実施している登別小学校のむし歯（永久歯）の状況

登別小学校では、昭和53年に文部省（当時）のむし歯予防推進校に指定され、それ以来むし歯の予防活動に取り組んでいます。

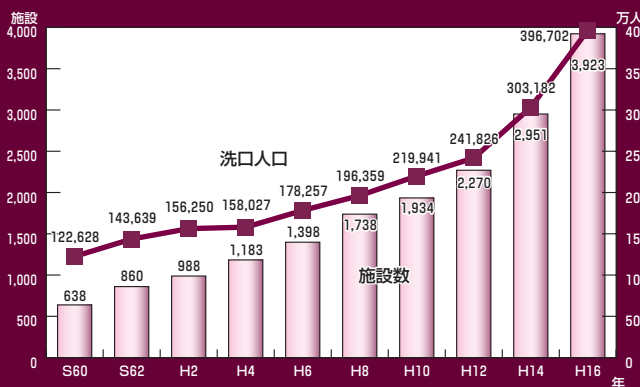
フッ化物洗口は翌年の昭和54年から実施しており、食後のブラッシングをはじめ週1回の洗口を行っています。

当初1人平均の永久歯のむし歯数は、50本あったものが、27年目の今年、1・16本となっています。

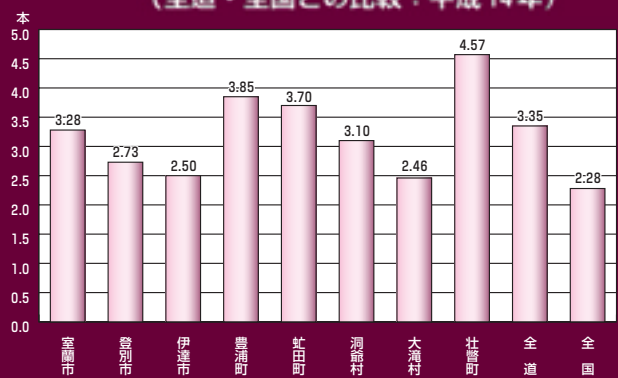
（【グラフ4】をご覧ください）



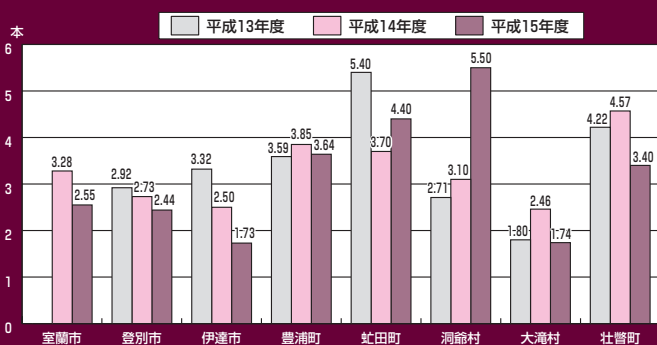
【グラフ1】 フッ化物洗口の全国の実施状況



【グラフ2】 12歳の1人平均う歯（むし歯）数（全道・全国との比較：平成14年）



【グラフ3】 12歳の1人平均う歯数（西胆振の状況：年度別）



【グラフ4】 登別小学校6年生（永久歯）の1人平均う歯数

